



「エンパシー (empathy)」という言葉をご存じでしょうか？ 教頭 河北 薫

エンパシーと似た言葉に「シンパシー (sympathy)」がありますが、こちらは耳にされたことがある方もおられると思います。この2つの言葉は、どちらも「共感」という意味で使われる言葉ですが、両者には少し異なるニュアンスがあるようなのです。調べると、いろいろな説明が出てきますが、簡単に言うと

「シンパシー」・・・同情すること

「エンパシー」・・・自分と（価値観、置かれた環境などの）状況が異なっても、その人を理解しようとする

ということのようです。

私は、これまで障害をもつ方と接する機会がほとんどありませんでした。恥ずかしながら、今思えば、障害をもつ方に対する私の共感は、「シンパシー」に近かったのかもしれない、と思いました。今年度、本校の児童生徒の皆さんと接したことで、「エンパシー」があって初めて、その人の力になれるということに改めて気づきました。同時に、本校職員が児童生徒に寄り添う姿勢は、間違いなく「エンパシー」だと確信しました。これからも、児童生徒の皆さんの力になれるよう、保護者の皆様と協力しながら指導・支援に取り組んでいきたいと思っています。



【小】元気いっぱい外遊び

昼休みになると、運動場で元気に遊ぶ児童の姿が見られます。学年の枠を超えて自転車遊びや鬼ごっこ、遊具遊びをして思い切り体を動かしています。

12月22日には本校でもうっすらと雪が積もりました。登校後、朝の支度を済ませると、急いで外に出て、今季初めての雪を全身で感じて楽しんでいました。

これから1年で最も寒い時期になりますが、寒さに負けず元気に過ごしていきたいです。



【中】らんらんチャレンジ

12月4日～15日の期間で行いました。1周1キロの校外コースを走るチームとグラウンドを走るチームに分かれて実施し、冬の冷たい風に負けることなく走りきることができました。目標を達成しようと頑張る生徒達の姿は本当にたくましかったです。



【高】なんごとやさんとの交流

基礎技能コースでは、今年で9年目となる、五町田地区コミュニティサークル「なんごとや」さんとの交流を行いました。練習してきたダンスや合奏を披露したり、一緒にゲームをしたりして親睦を深めました。



【高】2年生修学旅行

12月17日～12月19日の2泊3日で鹿児島へ修学旅行に行ってきました。いおワールドかごしま水族館、平川動物公園、鹿児島市立科学館、坂元醸造を見学し、充実した2泊3日を過ごすことができました。



進路指導部より

令和5年度同窓会・二十歳を祝う会

1月14日(日)にホテル華翠苑にて、令和5年度同窓会・二十歳を祝う会が開催されました。今年度二十歳になる卒業生は32名で、そのうち21名、また、同窓生75名が参加されました。二十歳の皆さんは紹介された後、1人ずつ現在の職場や頑張っていることなどを話していただきました。皆さんとてもいい表情をされていました。

令和2年度から昨年度はコロナ感染症予防のため本校体育館で開催しましたが、今年度は久しぶりにおいしい食事を楽しむことができ、会話も弾んでいました。スクリーンに出る懐かしい写真に笑い声も聞かれました。

最後は令和2年度卒業生の万歳三唱で会を閉じました。



相談支援部より

本校では、地域の特別支援教育の推進のために、地域のセンター的機能を果たすべく、教育相談・巡回相談等を行っています。どうぞ、ご活用ください。

相談支援部担当：川崎貴代・大淵栄一・松尾智恵 TEL 0954-66-4911